

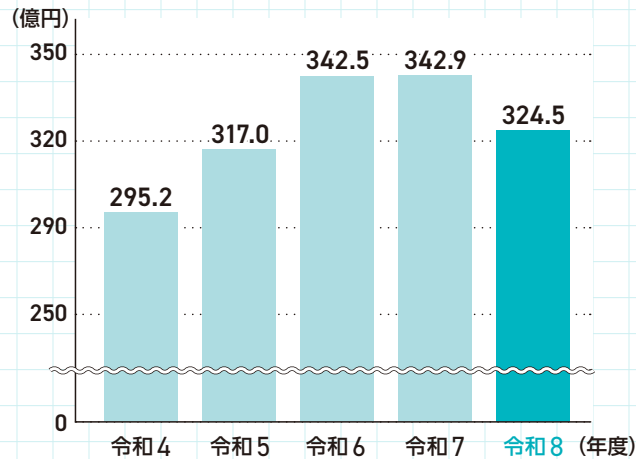
一般会計 324億4,524万円

令和8年度予算総額

(令和8年7月1日議決補正予算後)

一般会計予算額の年度別推移

※令和4年度は6月補正後、令和8年度は令和8年7月1日議決補正予算後



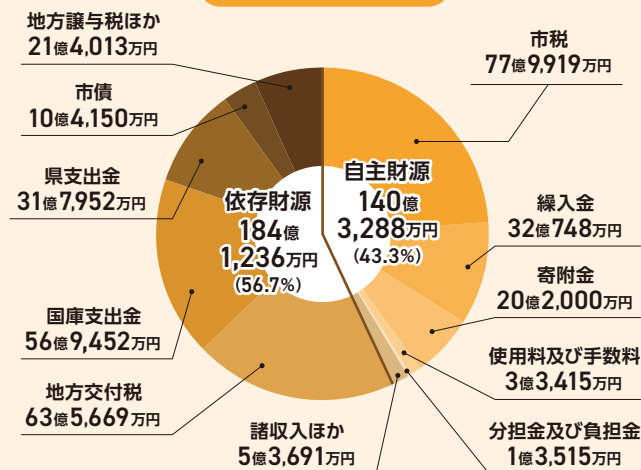
令和8年度は4年に一度の市長改選の年に当たり、当初予算は、義務的経費や経常的経費などを中心とした骨格予算でした。

そのため、7月1日に議決された補正予算では、堅実な行財政運営を基本としながら、伊万里市を持続可能な発展に導く『しあわせの好循環』を具体化するための経費を追加し、予算の肉付けを行いました。

また、物価高騰対策や地域活性化を図るなど、事業の重要性や緊急性を精査し、未来への投資となる政策経費を中心とする予算編成を行いました。

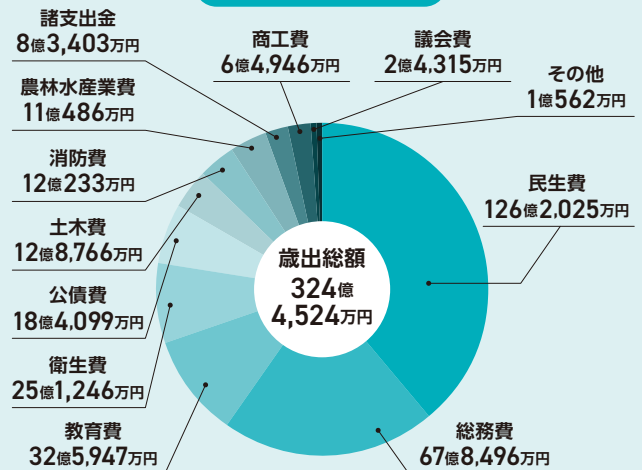
その結果、今年度の一般会計予算は、総額324億4,524万円で、令和7年度の同期（6月補正後）と比較し、6.9%の減少となっています。

歳入



- 市 税 …… 個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- 繰入金 …… 基金や特別会計からの繰入金です。
- 寄附金 …… ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- 使用料及び手数料 …… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- 分担金及び負担金 …… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- 諸収入ほか …… 受託事業収入や雑入などです。
- 地方交付税 …… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- 国庫支出金 …… 国からの負担金や補助金です。
- 県支出金 …… 県からの負担金や補助金です。
- 市 債 …… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- 地方譲与税ほか …… 地方譲与税や地方消費税交付金などです。

歳出



- 民生費 …… 社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- 総務費 …… 企画や男女協働、まちづくりなど、主に総務部門に要する経費です。
- 教育費 …… 小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- 衛生費 …… 保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- 公債費 …… 借入金の返済に要する経費です。
- 土木費 …… 道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- 消防費 …… 火災など災害に対応するための経費です。
- 農林水産業費 …… 農林水産業の振興に要する経費です。
- 諸支出金 …… 企業会計への繰出金などです。
- 商工費 …… 商工業や観光の振興に要する経費です。
- 議会費 …… 議会運営に要する経費です。
- その他 …… 労働費や災害復旧費などです。



iMAR!

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるため、特別会計を設けています。

令和8年度は、**表1**のとおり3つの特別会計を設けていて、その予算総額は、144億3,895万円となっています。

■ 国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

■ 介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障がいがある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	64億9,353万円
介護保険	58億7,014万円
後期高齢者医療	20億7,528万円
計	144億3,895万円

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、**表2**のとおりです。

■ 水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■ 工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■ 下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

表2 企業会計予算額

区分	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入	収入
	15億3,336万円	1億4,624万円
	支出	支出
	15億3,336万円	10億1,337万円
工業用水道事業	収入	収入
	10億1,603万円	4億8,095万円
	支出	支出
	10億1,603万円	14億3,214万円
下水道事業	収入	収入
	13億5,709万円	11億2,753万円
	支出	支出
	13億5,709万円	13億2,851万円

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、**表3**のとおりです。

表3 市債現在高

会計区分		現在高
一般会計		232億6,798万円
企業会計	水道事業	56億2,421万円
	工業用水道事業	61億4,972万円
	下水道事業	53億 208万円
	計	170億7,601万円

※令和8年5月末の現在高です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。



令和8年度予算の主な事業を紹介します。

『住み続けたい』をカタチにする3つの拠点整備

市の魅力を最大限に引き出し、定住を促す独自の価値を創り出すため、戦略的な拠点整備により暮らしの質を磨き、次代に選ばれる活力あるまちを築き上げます。

アクティブ拠点

国見台新体育館 整備事業



誰でもスポーツを楽しみ、親しみ、集える、安全安心な憩いの場として、新体育館建設を核とした総合的な公園整備を行います。

令和11年度から供用開始を予定しています。

予算額

9,207万円

新体育館建設イメージ



コミュニティ拠点

市民会館跡地 新複合施設整備事業

隣接した生涯学習センターや老人福祉センターなどの既存施設の老朽化対策なども踏まえて、新たに子育て支援や多世代交流の拠点となる、複合施設の整備を進めるための基本設計に取り組みます。

令和11年度から供用開始を予定しています。

予算額

7,059万円



※基本設計図

レジャー拠点

伊万里湾 海に親しむ 公園整備事業

イマリンビーチ、福田マリーナ、ファミリーパークにおいて、自然豊かで恵まれた環境を活かした整備を行い、民間活力を導入した一体的な利活用を進めます。



予算額

601万円



ともに支え育む『つながり』の創出

地域コミュニティの絆と郷土への愛着を深めることで、若者の挑戦を応援し、高齢者が住みやすく誰もが支え合いながら健やかに輝ける社会を創り上げます。

市内高等学校支援事業

地域全体が連携し、高校生が地域を知り、地域で学ぶ本市ならではの学習機会を提供することで、市内高校の魅力を高め、市内高校への進学者を増やすとともに、将来的な定住へのきっかけづくりを図ります。

予算額

172万円

老人団体支援事業

誰もが支えあいながら健やかに輝けるまちづくりを進めるため、老人クラブ活動の活性化を図ります。

老人クラブ活動を支援することで高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進させます。

予算額

364万円

地域活力あふれる『にぎわい』の創出

本市が誇る産業基盤を最大限にいかし、質の高い雇用と地域全体の稼ぐ力を高めることで、将来への活力を生み出します。

水稲営農物価高騰 対策支援事業

原油価格や物価の高騰など、農業経営に影響を受けている水稲耕作農家の作付けにかかる経費を補助します。

予算額

3,586万円

① 伊万里梨産地強化支援事業 ② 伊万里牛産地強化支援事業

伊万里産の梨の栽培面積の減少や、肉用牛の飼育頭数と農家数の減少などにより産地維持が危惧されている中で、生産力強化を図るための取り組みに要する経費を補助します。

予算額

① 565千円 ② 2,946万円

命と暮らしを守る『安心』の構築

市民の皆さんの命と財産を守り抜き、将来にわたり安全で快適に暮らせる強固な土台を築くことで、持続可能なまちを実現します。

防犯活動支援事業

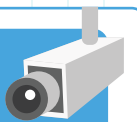
地域主体による防犯活動を推進するため、各行政区が行う防犯カメラの設置に要する経費を補助します。



予算額

260万円

小学校管理事業 中学校管理事業 (防犯カメラ設置費)



学校の防犯体制の強化及び犯罪の抑止のため、主に校門付近に防犯カメラを設置します。
(小学校15台、中学校6台、義務教育学校3台)

予算額

90万円